すべては患者さんのために

Southern TOHOKU Research Institute for Neuroscience

南東北

みなみとうほく

総合南東北病院の広報誌
2024.10 vol.391

一般財団法人 脳神経疾患研究所
社会福祉法人 南東北福祉事業団
医療法人社団 三成会
医療法人社団 新生会
医療法人財団 健貢会
社会医療法人 将道会
医療法人 謙昌会
医療法人 あさひ会
一般社団法人 STRヘルスケアグループ

【白一点】

撮影日：2022年9月23日
撮影地：二本松市・
安達ヶ原ふるさと村

早咲きの白い彼岸花は「真夏のクリスマス」とも名付けられているようです。開花時期の遅い赤花の中に一輪だけ咲き残った白い花に焦点を合わせました。白い彼岸花の花言葉は「また会う日を楽しみに」「想うはあなたひとり」です。

南東北地域医療推進センター長代行
南東北第二病院外科科長
佐藤　直

［今月号の紹介］

2面　薬局だより「お薬手帳を持ち歩きましょう！」、食の豆知識「さつまいも」
3面　医学健康講座「“命（いのち）の授業”とは!?」
4面　オープンシステム登録医「桑野協立病院」
5面　モロビ通信、医療・健康トピックス
6面　施設だより「総合南東北福祉センター／ゴールドメディア」ほか
7面　山口和之さんのいきいき企業探訪「ミドリヤ」
8面　8月の手術件数・救急車台数、編集後記 ほか

一般財団法人 脳神経疾患研究所 附属
総合南東北病院
南東北医療クリニック
南東北眼科クリニック
外来診療予約専用フリーダイヤル
0120-14-5420
眼科診療予約専用ダイヤル
024-934-5434
https://www.minamitohoku.or.jp/

薬局だより

お薬手帳を持ち歩きましょう！

皆さんはお薬手帳を持っていますか？本来は一人一冊のものですが、医療機関ごとに分けているという方もいらっしゃるのではないでしょうか。今回はお薬手帳についてお話しさせていただきます。

お薬手帳は『あなたがどんなお薬を、いつ、どこで処方してもらったか』を記録しておくためのもので、具体的には、どこの病院で出されたか、お薬の名前、服用方法、日数などを記録できる手帳のことです。またアレルギー歴や副作用歴、サプリメントや購入されたお薬の情報などをご自身で記載することも可能です。

お薬手帳は、1993年に別々の病院から出されたお薬の飲み合わせによる患者さんの死亡事故をきっかけに導入されました。診察を受ける際やお薬をもらう際に、医師や薬剤師に提示してもらうことで飲み合わせやお薬の重複をチェックし、副作用や飲み合わせのリスクを減らすことができます。また、旅行先での急な病気や事故、災害時などに自分の服用しているお薬の情報を正確に伝えることができます。実際に東日本大震災の際にも、お薬手帳を持っていた方は使用している薬剤が分かり、すぐに対応できたという実例もあります。

もし複数のお薬手帳をお持ちの方がいれば、一冊にまとめましょう。お薬手帳を病院・薬局ごとに分けてしまうことで前述のチェックが出来なくなります。必ず一冊にまとめておき、健康保険証などと一緒にして持ち歩くとよいでしょう。

お薬手帳は調剤薬局や病院で希望すればもらうことができる手帳型なものが一般的ですが、ここ数年はスマートフォン向けのアプリケーションも数多くリリースされ、導入を進めている医療機関や調剤薬局も増えており、利便性が高まっています。

ぜひお薬手帳をうまく活用し、安全にお薬を服用してください。

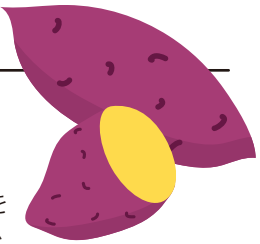
《参考》
相模原市薬剤師会HP
『お薬手帳とは』

薬剤科　熊谷由真

知って得する！美味しいお話！

食の豆知識

さつまいも



さつまいもの旬は秋を中心とした10～12月で、主に北関東以南の地域で生産されています。さつまいもは寒さに弱いものの、やせた土地でも育ちやすいため、飢餓に強い作物として栽培が推奨され、全国に普及しました。

参考：カゴメ株式会社VEGEDAY
旬の野菜の栄養事典
（栄養管理科）

選び方のポイント

美味しいさつまいもは、全体的にふっくらと太く、鮮やかな紅色をしています。持った時にずっしりと重く、皮の表面に傷が少なく、皮の色がきれいで、なめらかなものを選ぶと良いでしょう。

保存方法

さつまいもは暖かいところで栽培されるものなので、冷蔵庫に入れておくと低温障害を起こし傷みが早くなります。新聞紙などに包んで冷暗所に置いておきましょう。適温は10℃～15℃と言われており、数か月は保存が可能です。真冬は冷暗所が冷蔵庫より低い温度になる可能性があるので要注意です。

調理のポイント

さつまいもはアクが強く、空気に触れると黒く変色するので、切ったらすぐに水にさらしましょう。アクが気になるときや煮物の色をきれいに仕上げたいときは皮を厚めに剥くと効果的です。さつまいもに火を通す時は、蒸し器やオーブンなどでゆっくり加熱することで酵素が働き、甘みをより強く感じることができます。

【さつまいもきんとん】（2人分）

- さつまいも 300g（中くらい１～２本）
- みりん 20ml　●砂糖 30g

① さつまいもは2㎝幅に切り、皮を剥いた後、水にさらします。
② 鍋に水気を切った①とさつまいもがかぶる程度の水を入れ、火にかけます。
③ 沸騰したら弱火にし、さつまいもが柔らかくなるまで茹で、ザルに上げます。
④ 同じ鍋に水気を切った③、みりん、砂糖を入れ、弱火で加熱します。
⑤ さつまいもを潰しながら、汁気がなくなるまで木べらで練ります。
⑥ 火を止め、粗熱が取れたら6等分し、布巾にとって茶巾に絞り仕上げます。

総合南東北病院

医学健康講座

8/17(土)
開催

“命（いのち）の授業”とは!?

～小中高の子供たちに病気予防の啓発と医療知識の普及を図る～

講演内容は当院HPで聞くことができます。

総合南東北病院
緩和ケアセンター長
わたなべ　むつや
渡邉 睦弥 先生

総合南東北病院では福島県がん教育実践事業の一環として、医師や看護師らが小中学校や高校に出向いて、がんの正しい知識などを伝える『命の授業』を行っています。今回は命の授業について渡邉睦弥先生が詳しく解説します。

■厚労省と文科省がタッグ

命の授業は助産師さんがやっていましたが、がんを含めた現代医療において、助産師さんでは対応が難しくなりました。厚生労働省は、がんに関する教育や知識の普及啓発を図り、がんを切り口に健康問題や医療の現状、命の大切さなどを総合的に学べるよう進めました。学校教育は文部科学省で両者がタッグを組んで、子供たちに教えなければならないという思いが、この命の授業の新しいバージョンの成り立ちになっています。

■まだまだ低い授業の実施率

がんについて教える際は保健科目の領域を超える部分もあり、学校の先生では授業をこなしきれない場面も出てきます。そこで、がん診療連携拠点病院で、がんに携わる医療者が授業を行い、子供たちと一緒に考えるようになりました。実施率を見てみると福島県は小中高全体でたったの12・5％です。多感な年代でいちばん授業を受けてほしい中学でも13・2％。それに比べて東京都は中学が44・5％です。福島県もこのレベルまで上げないと、命の大切さを子供たちに伝えられないのではないかと危惧しています。

自分や両親が病気になったときに迷わないように、家族みんなで話そう

■命とはあなたの持ち時間

皆さん、命とは何ですか。命は目に見えますか。寿命とは命の長さですが、「君がこの世で使うことができる、それが君の命なんだよ」。だんだん分かってきましたか。日本人の平均寿命を80歳として365日×24時間×60分×60秒で約25億秒、世界の人口はおよそ70億人で、1秒間に一人ずつ会っても世界の全ての人たちに会うことはできない。一期一会と言いますが、そういう意味ではとても大切な言葉です。命は単純に心拍数を25億回数えたら死んでしまいます。だから命とはあなたの持ち時間です。「どう自分らしく使いますか」ということを考えてほしいと思います。

■授業はクラス単位で実施

授業を通して心が揺さぶられることがあります。授業を始める前に子供たちには「もし身近なところで不幸があったり、病気があったりして、授業中につらいなと感じたら手を挙げてください。私たちが対処します」と必ず伝えています。授業を行う場合、学校関係者には1学年全員で体育館で実施してほしいとお願いされますが、個々別々に綿密に対処する必要があるので、1クラスずつで行うようにしています。

■病気について家族で話そう

日本人が長生きした結果、日本人の2人に1人はがんになります。年齢が上がるにつれて、がんになる確率が上がります。がんは誰もがなりうる病気という話をして、このクラスの半分ががんになるんだよと伝えると「そういうことだったんだ」と身につまされます。家に帰ったら今日の授業を通して学んだことをお父さんやお母さんに話してみてください。話すことがとても重要です。タブーのままだと自分や両親が病気になったときに迷ってしまう。迷わないためにも皆で話しましょう。

■自分にできることをやる

がんの危険性を減らすためには喫煙・受動喫煙、飲酒、野菜不足、脂肪の摂りすぎ、運動不足など。こういうことがあると病気になりやすいんだよ。自分にできることをやることが大切だよ。学校で勉強して、給食を食べて、運動して…ということが健やかで病気にならない生活なんだと教えると、子供たちは「なるほど」と反応してくれます。

■ひとりで頑張らないこと

もし自分や家族ががんになったら何を選択するか。手術や放射線療法、抗がん剤治療など様々です。治療法を決める際に大切なのは患者さんの価値観や十分な説明、相談、生きる希望などが挙げられますが、いちばんは一人にならないこと。がんは治療も含めて結構つらいです。痛みや体調の悪さなどいっぱいあり、それらを克服し、迷惑をかけまいと一人ぼっちで頑張ってしまいます。そうならないようにみんなで相談し、自分も理解し、納得して決めましょう。

■我慢しなくていい医療へ

患者さんをペイシェントと言いますが、語源は「我慢する人」です。患者さんは痛みやつらさを我慢しなくてはならなかった。でも今は、がんを取り除くだけでなく、薬で痛みを和らげ、その人らしい生活を送れるようにします。患者さんの不安を取り除くため医師や心理カウンセラー、看護師さんを含めて、支持的精神療法やカウンセリングなどで、患者さんの声に耳を傾け、前向きな人生を送れるようにお手伝いをしています。

総合南東北病院
連携医院・病院のご紹介

No.044

地域医療 支える 絆

内　科　消化器内科　循環器内科　呼吸器内科　糖尿病内科
眼　科　整形外科　皮膚科　リハビリテーション科　リウマチ科
ペインクリニック外科　麻酔科　小児科

郡山医療生活協同組合
桑野協立病院

院長　坪井（つぼい） 正夫（まさお） 先生

地域の皆様へ

当院は1974年、桑野診療所の開設から始まり、半世紀にわたり『健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる。』の理念のもと、地域住民の暮らしと健康を守る取り組みを進めてきました。高齢化の時代に入り、自分らしく自宅で過ごしたいと願う地域の皆さまの要望にお応えするため、病気の早期発見・早期治療に貢献するプライマリケアを軸に、クリニック・病院・介護事業所の連携を深め、郡山地区で需要が高まっている在宅医療・訪問診療など、地域の皆さまの生活を支える医療・介護事業を進め、地域医療に貢献してまいります。

病院へのアクセス

診察時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9：00～12：00	○	○	○	○	○	○	／
15：00～17：00	○	○	○※	／	○	○	／

休診日　木曜の午後、日曜・祝日　※水曜の午後は18:00まで

診療科　内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・糖尿病内科
眼科・整形外科・皮膚科・リハビリテーション科・リウマチ科
ペインクリニック外科・麻酔科・小児科

所在地　〒963-8034 郡山市島2-9-18

TEL　024-933-5422

詳しくはこちらからご覧ください
http://www.koriyama-h-coop.or.jp/

開館25周年
モロビ通信 Vol.19
MOROHASHI MUSEUM OF MODERN ART

morohashi museum of modern art

アートで日々にうるおいを。もろはしきんだいびじゅつかん通信

夫婦の好みが鍵となった!?
モロビのコレクション形成の裏側とは…?

アルフレッド・シスレー『積み藁』(1895年)

秋の香りが漂い、爽やかな風が心地よい季節がやって来ました。今回はそんな季節にぴったりな『積み藁』という作品を紹介します。描いたのは印象派を代表する画家アルフレッド・シスレー（1839-1899）です。

1889年、フランスの小さな村であるモレ=シュル=ロワンに移り住んだシスレーは、その生涯を終えるまでの約10年を風光明媚なこの地で過ごしながら風景画を描き続けました。初期には暗い色彩を使って風景画を描いていたシスレーでしたが、徐々に明るい色彩を使って爽やかな青空や清澄な光の表現がなされ、本作でもその傾向がうかがえます。

今回ご紹介した作品は、当館で開催中の展覧会「コレクション・ストーリー　–諸橋近代美術館のあゆみ–」に出品されています。重厚な構図と色彩を好んだ当館の創立者・諸橋廷蔵に対して、華やかな色彩と爽やかな画風を好んだ廷蔵の妻は、この『積み藁』の収集を強く希望されたそうです。

このように諸橋近代美術館の多彩なコレクション形成の裏側にはさまざまなエピソードなどがあり、本展では作品とともにコレクション経緯をご紹介しています。モロビのバックグラウンドが知れるこの機会を是非お見逃しなく!

諸橋近代美術館
morohashi museum of modern art

〒969-2701
福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峯1093番23
TEL.0241-37-1088／FAX.0241-32-3332

今年25周年!
HPはこちら
https://dali.jp/

公益財団法人　諸橋近代美術館
学芸員　**齋藤まりこ**
諸橋近代美術館で所蔵する西洋近代絵画作品を調査研究しながら、学芸員として様々な展覧会の企画に従事

医療・健康 トピックス

台風10号の影響で血液不足
職員22名が献血に協力

総合南東北病院の職員献血は9月2日㈫午後、南東北創薬・サイクロトロン研究センター敷地内に待機した福島県赤十字血液センター献血バス（移動採血車）で行われました。輸血用の血液不足解消に貢献しようと夏と冬の2回、職員が自主的に協力しています。今回は各部署から合わせて22名が参加しました。職員は受付で問診、バス内で血圧やヘモグロビン値などの健康チェックを受けた後、全員が400㎖の献血を行いました＝写真＝。県赤十字血液センターの担当者は「夏場は血液が不足しがちで、特に今回は台風10号の影響により九州や沖縄県などで予定していた献血活動が中止となり、血液が不足していました。皆さんの協力に感謝します」と話していました。

増え続ける日本の医療費
国民の意識改革も必要

厚生労働省の発表によると、令和5年度に病気やけがなどの受診で医療機関に支払われた医療費の総額は47兆3千億円で、前年度から2・9％増加し、3年連続で過去最高を記録しました。団塊世代が75歳以上の後期高齢者になりはじめ、全体を押し上げました。75歳以上の医療費は4・5％増の18兆8千億円で、全体の39・8％を占めました。一人当たりの医療費は75歳以上の96万5千円に対し、75歳未満は25万2千円で、約3・8倍となっています。我が国の医療費は今後も増え続けることが予想され、国民一人ひとりの意識改革が必要です。生活習慣の改善などで病気になりにくい体づくり、また定期的な健診などで重症化を防ぐことで、医療費の削減につながります。

施設だより

総合南東北福祉センターとゴールドメディアの活動の様子をお届けします

社会福祉法人 南東北福祉事業団

総合南東北福祉センター

納涼祭で盆踊り体操や的当て、綿あめ作りに挑戦！

南東北日和田デイサービスセンターでは8月28日㈬に納涼祭を開催しました。

当日は「浴衣を着たい」という職員の希望もあり、着付けのできる利用者さんにお願いして、パパっと手際よく着付けをしていただきました。

納涼祭では「炭坑節」に合わせて盆踊り体操を行いましたが、振付が3パターンのみと比較的簡単だったため、曲の終わりには全員の踊りが見事に揃っていました。的当てゲームでは熱戦が繰り広げられました。

フロアには綿あめ機を準備し、利用者さんに綿あめ作りに挑戦してもらいました。「綿あめを作るのが上手だね」「懐かしいよ」と皆さん大喜びでした。

暑さを乗り切れるように綿あめと一緒に冷たいサイダー、かき氷を振る舞いました。利用者さんも職員も少し童心に返り、納涼祭を楽しむことができました。

綿あめ機で綿あめを作る利用者さん

出来立ての綿あめを味わう利用者さん

介護老人保健施設

ゴールドメディア

夏祭りでチョコバナナ、たこ焼き、射的などを楽しむ

ゴールドメディアでは8月25日㈰に夏のイベントとして1、2階合同で夏祭りを開催し、たこ焼きやチョコバナナ、射的などを企画しました。

たこ焼きやチョコバナナは普段なかなか食べられないため、多くの利用者さんが満面の笑顔を浮かべながら食べていました。チョコバナナは老若男女問わず人気で定番だと感じました。

たこ焼きは焼き立てを振る舞い、利用者さんは息を吹きかけて冷ましながら食べていました。出来立てほやほやなので、利用者の皆さんが祭りの雰囲気を感じられたことでしょう。

射的は意外と難しかったようで、なかなか的に当てられず悔しがる利用者さんもいました。それでも諦めずにチャレンジを続け、見事に的に当てると、とても嬉しそうでした。射的が得意な利用者さんもいて、弾を的に当てると得意気な表情を見せていました。

夏祭りを通して大勢の利用者さんに、素晴らしい夏の雰囲気を味わっていただけたと思います。

チョコバナナに喜ぶ利用者さん

職員の手を借り射的に挑戦する利用者さん

南東北の情報をチェック！

フォローしてね！

＼スマホで簡単チェック／

公式HP

YouTube

Instagram MINAMIHP_KORIYAMA

X（旧Twitter）

好評連載中!

山口和之さんのいきいき企業探訪

Interview vol.16

日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之
（やまぐち・かずゆき）

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院（現在の当院）のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

多品種小ロット生産で、顧客ニーズに合わせた製品づくり
幻の大豆や新品種などで『地産地消』の復活を目指す

代表取締役社長
村上 利勝（むらかみ としかつ）氏

㈲ミドリヤ

郡山市富久山町久保田字古町21-1
TEL.024-944-4151
http://minorinatto.com/

ミドリヤが製造する豊富な商品ラインアップ

山口　日本の朝の食卓に欠かせない納豆は栄養価が高く、体調管理や病気予防にも効果的です。今回は〝スーパーフード・納豆〟を製造するミドリヤさんにお邪魔しました。まずは事業内容について村上利勝社長にお聞きします。

村上　私どもは納豆の製造と卸売業を生業にしています。1953年、初代村上吉憲が現在の郡山市中町に会社を設立しました。当時は夏場にバナナ問屋、秋から春にかけては納豆を製造していました。1970年代になって納豆製造に専念し、郡山市を中心に地元スーパーや小売店、直売所での販売と、学校や病院、ホテル、旅館向けなどの業務用に力を入れています。特に業務用では多品種小ロット生産を行っており、お客様のニーズに合わせた製品づくりをモットーにしています。

山口　福島県の皆さんは納豆が大好きですね。

村上　世帯当たりの納豆の消費額は4年連続で福島県が1位になるなど全国トップクラスです。納豆には様々な栄養素が含まれ、特にタンパク質や食物繊維、ビタミンなどが豊富です。生活習慣病や骨粗しょう症など病気の予防にも効果があり、県民の健康増進に役立てれば嬉しいですね。

山口　看板商品やおすすめ商品を教えてください。

村上　登録商標である『みのり納豆』は発売以来50年を越えました。タレもカラシも付いていませんが、根強い人気を誇っています。全国納豆鑑評会で5度の入賞を果たした『ほのか』、子供たちや保護者の強い要望を受け、学校給食向けの納豆を商品化した『おかわり』も人気です。

山口　食品を扱う上で、特に注意していることは。

村上　美味しい納豆をつくるためには納豆菌の繁殖を妨げる雑菌対策が重要です。全ての食品製造に当てはまることですが、衛生管理（洗浄・清掃・手洗い等の正しい指導・従業員の健康管理）と温度管理（製造・保管）には特に気を付けています。従業員の意識が大事なので年1回の健康診断と、衛生管理や異物・ウイルス対策等についての講習会を定期的に行っています。

山口　人材確保や社員教育、働き方改革について。

村上　総勢7名の小さな会社で、社員の皆さんに長く勤めていただいているので、人材確保に苦慮する事態には至っていません。製造現場は女性のみで、みんなバリバリ働いてくれています。蒸気のせいで夏場は暑いので7、8月は有休消化も兼ねて、工場休業日を増やすなどして疲れない働き方を目指しています。主婦の方がほとんどで、基本的に残業は〝ゼロ〟です。

山口　今後の夢やビジョンを聞かせてください。

村上　いちばんの夢は『地産地消』です。東日本大震災以前は実現していたのですが、震災後は東京電力福島第一原発の事故の影響で途切れてしまいました。いつの日か復活できるように少しずつ進めているところです。幻の大豆や新品種などを使った納豆づくりに挑戦したいと思います。脱プラスチックを模索中で、環境にも優しい納豆をつくりたい。購買意欲を掻き立てるECサイトの構築にも注力したいと考えています。

山口　納豆は美味しいだけでなく、糖尿病や心血管疾患、脳卒中などのリスクを下げると言われています。安価な納豆で病気が予防できるとなれば莫大な医療費の抑制につながるかもしれません。まさに『納豆、万歳！』ですね。

村上社長と後継者の未奈さん、山口さん

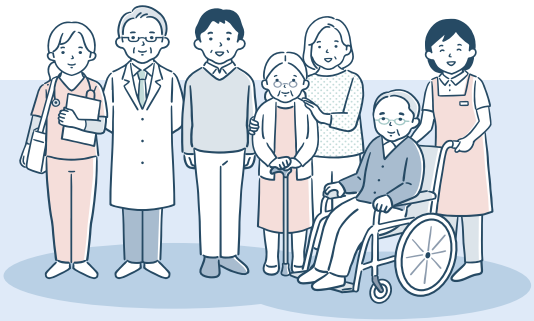
Topics

ムソジェンヌフェスタに出展
血管年齢測定器が大人気！

福島リビング新聞社主催『ムソジェンヌフェスタ』は9月1日㈰、郡山市のベルヴィ郡山館で開かれました。60代女性がターゲットで、来場者は美容や健康に関するセミナーや協賛企業ブースで、今後の楽しい生活を送るためのヒントを探していました。総合南東北病院のブースには血管年齢測定器を設置し、人気を博しました＝写真＝。セミナーでは予防医学の柿沼雄二先生が女性の60歳からの健康対策について講演しました。

サザンクロス㈫が優勝！

郡山市の富久山地区夏季ソフトボール大会が7月21日㈰に富久山スポーツ広場で開催され、総合南東北病院サザンクロスが10年ぶりに優勝しました。コロナ禍での自粛期間を乗り越えて5年ぶりに活動を再開し大会に出場、抜群のチームワークで見事に優勝を勝ち取りました＝写真＝。

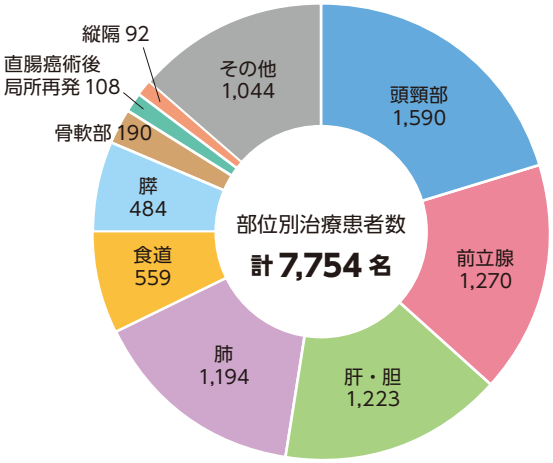


私たちの目標（基本方針・品質方針）

- 患者さんに公正な医療を提供いたします。
- 医師による説明と患者さんの選択に基づく医療を進めます。
- 患者さんのプライバシーを尊重します。
- 診療情報を患者さん自身にお伝えします。
- より良い医療が行われるよう研修・研鑽いたします。
- 患者さんの人生が最後まで豊かであるようにその意志を尊重します。

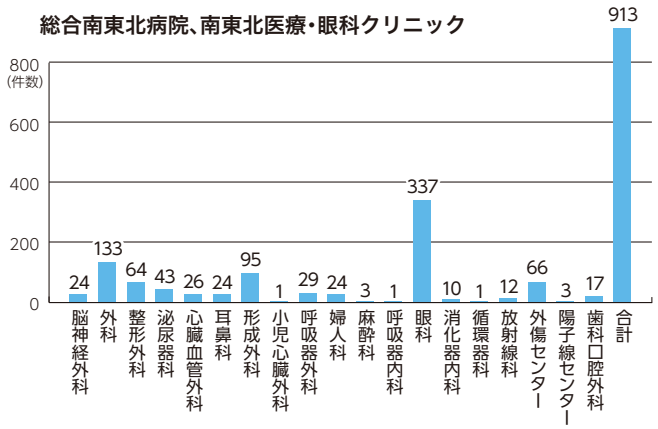
陽子線治療実績

2024年 8月末まで　（2008年10月開院以降）



8月の診療科別手術件数

総合南東北病院、南東北医療・眼科クリニック



8月の救急車台数ほか

2024年 8月1日～31日

救急車受入れ台数	救急患者数	ドクターヘリ受入れ
672台（患者数672人）	1,734人（時間外1,373人）	1件

編集後記

パラリンピックパリ大会は9月8日まで12日間に渡り、各競技で熱戦が繰り広げられました。福島県ゆかりの選手は過去最多4個のメダルを獲得し、県民に勇気と感動を届けてくれました。車いすラグビーの橋本勝也さん＝三春町＝は東京大会で銅メダルだった悔しさを糧に金メダルを獲得。柔道女子48㌔級（全盲）の半谷静香さん＝いわき市出身＝は右膝の大けがを乗り越えて銀メダル、ボッチャの遠藤裕美さん＝福島市＝は個人と団体で2個の銅メダルを手にしました。郡山市生まれの石川優衣さんは車いすバスケ女子で7位と大健闘でした。パラリンピックは障がい者スポーツの枠を超え、もはや一流アスリートの戦いの場となっています。己の障がいと向き合い努力する彼らに改めて敬意を表したいと思います。

南東北
2024年10月1日
■発　行
一般財団法人脳神経疾患研究所
法人本部広報担当
〒963－8563
福島県郡山市八山田七丁目115
TEL（024）934－5708
■印　刷
石井電算印刷株式会社

ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えています FSC® C010137
「南東北」は責任ある森林管理により生まれたFSC® 認証紙を使用しています。
「南東北」は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。
「南東北」は、環境にやさしいベジタブルインキを使用しています。

当院のHPはこちら